

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和6年10月4日

①学校名:	聖隷クリストファー大学 大学院(私立)	②所在地:	静岡県浜松市中央区三方原町3453		
③課程名:	リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻博士前期課程理学療法学分野				
④正規課程/ 履修証明プログラム:	正規課程(修士)	⑤定員:	リハビリテーション科学研究科博士 前期課程15名(令和5年度理学療 法学分野修了者数10名)	⑥期間:	2年間
⑦責任者:	研究科長 柴本 勇	⑧開設年月日:	平成18年4月1日		
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>【教育目的】 建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基盤とする倫理観を身につけ、広い視野に立って学識を深め、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学など、リハビリテーション分野における高い研究・実践力を持つ高度専門職業人を育成する。</p> <p>【教育目標】 高い倫理観を身につけ、リハビリテーション分野における最新の専門知識や技能を習得した高度専門職業人を育成する。また、諸課題の現状を分析し、解決方法を検討し実行できる人材を育成する。研究方法を学び、論理的思考力や科学的検証力を高める。多職種連携や協働の重要性を理解し、コミュニケーション力が高い専門職業人を育成する。</p> <p>【概要】 理学療法学分野は、理学療法科学領域と理学療法開発学領域の2領域制としている。理学療法科学領域は理学療法を科学的に分析し臨床力を高める力を、理学療法開発学領域は新たな視点で更に新しい療法を開発する力を修得する。</p>				
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護 ○	9 起業
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	<p>次のいずれかに該当する者</p> <p>(1)学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または入学時までに卒業見込みの者</p> <p>(2)学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者</p> <p>(3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者</p> <p>(4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者</p> <p>(5)我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者</p> <p>(6)外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者</p> <p>(7)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または入学時までに修了見込みの者</p> <p>(8)文部科学大臣の指定した者</p> <p>(9)本大学院が、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達したもの</p> <p>※リハビリテーション科学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①～③のすべてに該当する者</p> <p>①上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者 ②入学時点で3年以上の実務経験を有する者 ③学術論文または学会発表において筆頭が一編以上ある者</p>				
⑫対象とする職業の種類:	理学療法士				

<p>⑬身に付けることのできる能力:</p>	<p>(身に付けられる知識、技術、技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの活動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学について最新の専門知識・技能を習得し、問題解決に向け科学的で論理的な活動が企画できる。 3. 幅広い知識と視野を持ち、専門応用力を通じて、現在の学術及び臨床課題を抽出し解決する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら探索し、先行研究の調査と詳読を経て、研究テーマを設定し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・分析・考察を行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してコミュニケーションを図り、人々の健康、福祉、教育の課題解決に取り組むことができる。 7. 学際かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。 8. 理学療法学分野に関連した検査評価や治療など医学や関連学問の知識、理学療法の検査評価技術、治療技能を身につけ、より科学的な視点で分析し適切な治療ができるための専門知識と治療技能を修得できる。 								
	<p>(得られる能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的思考力 ・解剖学、生理学、神経科学、運動学および運動生理学などの理学療法学分野の基本となる課題、理学療法士の新しい教育手法、教育効果を証明するための科学的な検証方法などの能力 ・電気生理学的研究機器の測定方法、データの解析手法など、実験的研究を行う時に必要な能力 ・質的研究やケーススタディーの手法 ・基礎科学・医学・倫理学・データサイエンス・教育管理・マネジメントの基本的知識を得て将来のリーダーとなれる能力 ・マネジメント能力やプレゼンテーション力 ・グループ討論等を通じて、ディスカッションする力を高め、同じ専門職と共に研鑽し自身を高める力 								
<p>⑭教育課程:</p>	<p>【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】 教育理念・目的及び卒業認定・学位授与の方針、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く(共通科目)。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論、専門的臨床技能及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く(基盤科目)。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く(専門科目)。 <p>【教育課程の構成】 [共通科目] リハビリテーション科学、看護学、社会福祉学と関連の深い諸科学について理解を深めるため、3研究科博士前期課程に共通の授業科目として「キリスト教倫理特論」「保健医療倫理学特論」「実験的研究法」「教育方法学特論」「保健科学英語特論」など12科目を配置している。 [基盤科目] 研究の意義や方法を理解するために「リハビリテーション研究入門」を配置している。理学療法士が専門性を高めたり、他分野の専門を学ぶ機会として、「内部障害リハビリテーション学」、「生活環境リハビリテーション学」、「嚥下障害リハビリテーション学」、「新生児リハビリテーション学」、「発達障害リハビリテーション学」、「疼痛科学リハビリテーション学」、「スポーツリハビリテーション学」を配置し、より幅広い臨床実践や臨床技能を得られるようにしている。これらの科目では、グループ討議や課題発表を通して、リハビリテーションに関する臨床知識や臨床技能を修得することができる。また、将来理学療法士養成に関わる人材となれるよう「インストラクショナルデザイン特論」、「リハビリテーション教育演習」の2科目を配置し、グループ討議や事例検討等を通じて教育能力を修得する。 [専門科目] 理学療法学分野では、理学療法科学領域と理学療法開発学領域のいずれかに所属しながら、履修する科目により研究コース・教育学コース・高度実践リハビリテーションコースを選択できる。また、専攻領域以外の特論も履修することができる。「理学療法科学特論」や「理学療法開発学特論」では文献検討やグループ討論を通じて理学療法の最新知識を修得し、「理学療法科学特論演習」や「理学療法開発学特論演習」では自身のプロジェクトや事例検討等プレゼンテーションを通じて専門性を高める。「理学療法学特別研究」の現地調査では文献調査を通じて研究能力を高める。高度実践リハビリテーションコースでは加えて「高度実践リハビリテーション実習」で現地演習を通じて高い臨床能力を修得する。</p>								
<p>⑮修了要件(修了授業時数等):</p>	<p>本研究科に2年以上在学して30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文(もしくは課題研究論文)審査及び最終試験に合格すること。</p>								
<p>⑯修了時に付与される学位・資格等:</p>	<p>修士(リハビリテーション科学)</p>								
<p>⑰総授業時数:</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">100</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">単位</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">⑱要件該当 授業時数:</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">92</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">単位</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">92</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">%</td> </tr> </table>	100	単位	⑱要件該当 授業時数:	92	単位	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	92	%
100	単位	⑱要件該当 授業時数:	92	単位	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	92	%		
<p>⑳該当要件</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">企業等</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">双方向</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 10%;">実務家</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 10%;">実地</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	企業等	双方向	○	実務家	○	実地	○	
企業等	双方向	○	実務家	○	実地	○			

⑳成績評価の方法:	各授業科目の単位修得の認定は、試験または研究報告により担当教員が行う。担当教員はシラバスに科目ごとに具体的な評価方法とその割合を提示する。
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に基づき「聖隷クリストファー大学自己点検・評価に関する規程」を定め、自己点検・評価運営委員会および大学部長会において自己点検・評価を行い、結果をホームページで公表している。各部門(大学院においては研究科委員会)を実施組織とし、点検評価の年間計画(内部質保証年間計画表)に基づき、「評価基準の自己点検評価」「教育研究年間活動評価」「教学マネジメント評価」の様式を用いて1年間のPDCAサイクルで自己点検・評価を行い、改善事項と必要な取り組みを確認し、実施している。また、大学として大学基準協会の認証評価を受審し、結果をホームページで公表している。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対して、修了直後にはループブックを用いて指導教員と共有する。また、毎年本学キャリア支援センターがアンケート調査をし、その結果を分析することにより課程の効果を検証する。毎年11月に対面で意見交換する場を設定し、直接意見交換し効果を検証する。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 2024年度は「臨床実習指導者会議」に大学院教育課程の編成に関する議題を加え、外部施設に勤務する理学療法士からの外部意見を教育課程に反映させる。2025年度以降は、毎年2月に「リハビリテーション科学研究科会議(仮称)」を新設し、教育課程に関する意見交換を行う。
	(自己点検・評価) 2024年度は「臨床実習指導者会議」に大学院に関する議題を加え、外部施設に勤務する理学療法士からの外部意見を自己点検・評価する際に反映させる。2025年度以降は、毎年2月に「リハビリテーション科学研究科会議(仮称)」を新設し、大学院教育に関する意見交換を行い自己点検・評価をする際に反映させる。
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間および土曜開講、長期在学コース(3年)
㉕ホームページ:	https://www.seirei.ac.jp/graduate/about/rehabilitation-science/first-term/

(様式2)

授業科目の概要について

学校等名:	聖隷クリストファー大学大学院
課程名:	リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻博士前期課程理学療法学分野

要件該当授業時数:	92 単位
要件該当授業時数/総授業時数:	92 %

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
自由選択	1	キリスト教倫理特論	1	2					仲義之	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	2	保健医療倫理学特論	1	2		○			大石ふみ子	聖隷クリストファー大学看護学研究科
自由選択	3	健康増進・医療経済政策特論	1	2		○			西川浩昭	聖隷クリストファー大学看護学研究科
自由選択	4	臨床疫学特論－EBM実践入門－	1	2		○			西川浩昭	聖隷クリストファー大学看護学研究科
自由選択	5	実験的研究法	1	2		○	○		熊澤武志	聖隷クリストファー大学看護学研究科
									吉本好延	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									柴本勇	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									根地嶋誠	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									伊藤信寿	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									谷哲夫	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	6	社会調査特論	1	2					大場義貴	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	7	人体構造・機能学特論	1	2		○	○		顧寿智	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科
									丹羽宏	聖隷保健事業部地域・企業健診センター
									三橋孝	みつはし医院
									石崎久義	石崎耳鼻咽喉科
自由選択	8	心理学特論	1	2		○			藤田美枝子	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	9	教育方法学特論	1	2		○			藤崎和彦	岐阜大学医学部医学教育開発研究センター
自由選択	10	保健科学英語特論	1	2					Patterson	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	11	マネジメント論	1	2					武居敏	社会福祉法人聖隷福祉事業団
自由選択	12	教育工学特論	1	2		○			津森伸一	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科
自由選択	13	リハビリテーション研究入門	1	2		○	○		吉本好延	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									矢部広樹	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									泉良太	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									新宮尚人	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									根地嶋誠	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									伊藤信寿	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									顧寿智	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科
									大原重洋	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									柴本勇	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									片桐伯真	聖隷三方原病院
									山内克哉	浜松医科大学医学部附属病院
自由選択	14	内部障害リハビリテーション学	1	2		○	○		矢部広樹	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									有園信一	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									金原一宏	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									俵祐一	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									高橋大生	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									酒井直人	サカイ脳神経外科
自由選択	15	生活環境リハビリテーション学	1	2		○	○		藤田さより	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									新宮尚人	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									伊藤信寿	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									泉良太	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									佐野哲也	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									鈴木達也	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	16	嚥下障害リハビリテーション学	1	2		○	○		柴本勇	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									佐藤豊展	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									藤島一郎	浜松市リハビリテーション病院
									重松孝	浜松市リハビリテーション病院
自由選択	17	新生児リハビリテーション学	1	2		○	○		大城昌平	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	18	発達障害リハビリテーション学	1	2		○	○		伊藤信寿	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	19	疼痛科学リハビリテーション学	1	2		○	○		金原一宏	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	20	スポーツリハビリテーション学	1	2		○	○		根地嶋誠	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	21	インストラクショナルデザイン特論	1	2		○	○		津森伸一	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科
自由選択	22	リハビリテーション教育演習	1	2		○	○		吉本好延	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									柴本勇	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									伊藤信寿	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
									中島ともみ	藤田医科大学保健衛生学部(実務家教員)

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
自由選択	33	作業療法開発学特論Ⅰ	1	2		○	○		新宮尚人 伊藤信寿 泉良太 藤田さより 佐野哲也 鈴木達也	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	34	作業療法開発学特論Ⅱ	1	2		○	○		泉良太 新宮尚人 伊藤信寿 藤田さより 佐野哲也 鈴木達也	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	35	言語聴覚障害学特論Ⅰ	1	2		○	○		大原重洋 小坂美鶴 黒崎芳子	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	36	言語聴覚障害学特論Ⅱ	1	2		○	○		谷哲夫	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	37	摂食嚥下障害学特論Ⅰ	1	2		○	○		柴本勇 佐藤豊展 重松孝	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 浜松市リハビリテーション病院
自由選択	38	摂食嚥下障害学特論Ⅱ	1	2		○	○		柴本勇 佐藤豊展	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	39	高度実践リハビリテーション特論Ⅰ	1	2		○	○		柴本勇	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	40	高度実践リハビリテーション特論Ⅱ	1	2		○	○		柴本勇 大城昌平 伊藤信寿 金原一宏 根地嶋誠 俵祐一	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	41	高度実践リハビリテーション実習Ⅰ	1	2		○	○	○	柴本勇 大城昌平 伊藤信寿 金原一宏 根地嶋誠 俵祐一	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	42	高度実践リハビリテーション実習Ⅱ	1	2		○	○	○	柴本勇 大城昌平 伊藤信寿 金原一宏 根地嶋誠 俵祐一	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	43	高度実践リハビリテーション実習Ⅲ	2	2		○	○	○	柴本勇 大城昌平 伊藤信寿 金原一宏 根地嶋誠 俵祐一	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
自由選択	44	高度実践リハビリテーション課題研究	2	2		○	○		柴本勇 大城昌平 伊藤信寿 金原一宏 根地嶋誠 俵祐一	聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員) 聖隷クリスティー大学リハビリテーション科学研究科(実務家教員)
合計:		44 科目		総授業時数:	100		単位			

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。